

株主の皆様へ



代表取締役社長

黒田 浩史

■ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第73期中間期(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月

■当第2四半期連結累計期間の概況

当該期間におけるわが国経済は、中国経済の減速に加えて英国のEU離脱、米国大統領選の動向等により先行き不透明な状況で推移しました。

こうした状況下、当社グループにおいては、工作機械業界の減速に伴う受注低迷等により受注高は6,332百万円(前年同期比245百万円、3.7%減)、売上高は6,569百万円(前年同期比183百万円、2.7%減)となりました。利益面に関しては、売上高の減少に加えて、為替差損失

79百万円計上の影響により、営業利益54百万円(前年同期比56百万円、50.6%減)、経常利益6百万円(前年同期比203百万円、96.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失10百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益70百万円)となりました。

■通期の見通し

当社グループの通期の連結業績は、上期の実績を反映し、売上高13,600百万円、営業利益120百万円、経常利益90百万円、親会社株主に帰属する当期純利益40百万円と予想しております。

下期においては、開発した新商品の市場投入、長野工場で量産を開始したモーターコアや金型大口案件の販売寄与、回復基調にある半導体製造装置業界向け拡販等が業績に貢献することが期待されています。期末配当予想につきましては、現時点での業績見込みから総合的に判断し、1株当たり2円とさせていただきます。業績の早期回復に向けた努力を一層加速して参りますので、株主の皆様には何卒ご理解ご支援のほどよろしくお願いいたします。



■ 駆動システム

当セグメントでは、期初受注残が前年同期比で低水準であったことに加え期中の受注も低調であったことから受注高は2,837百万円（前年同期比53百万円、1.9%減）、売上高2,870百万円（前年同期比323百万円、10.1%減）、営業利益98百万円（前年同期比214百万円、68.5%減）となりました。

売上高 **2,870**百万円

■ 金型システム

当セグメントでは、車載モーター、産業機械からの受注が比較的順調に推移し、受注高は1,589百万円（前年同期比6百万円、0.4%増）、売上高は1,703百万円（前年同期比62百万円、3.8%増）となりました。売上の増加に加えて、低迷する海外子会社で構造改革を推進したことにより営業損失27百万円（前年同期は営業損失97百万円）と損失を圧縮しました。

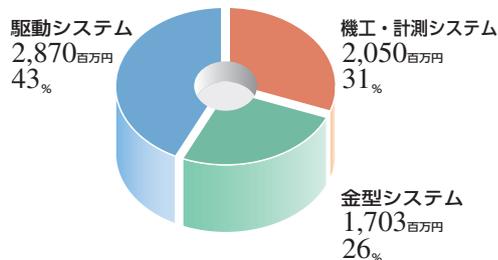
売上高 **1,703**百万円

■ 機工・計測システム

当セグメントでは、工作機械の受注が低迷し受注高は1,961百万円（前年同期比233百万円、10.6%減）となったものの、受注残の消化により売上高は2,050百万円（前年同期比40百万円、2.0%増）と堅調に推移し、収益改善活動の成果も相まって営業利益51百万円（前年同期比41百万円、400.3%増）と大幅な増益となりました。

売上高 **2,050**百万円

セグメント別売上構成比



各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

■ JIMTOF2016への新商品の出展

11/17～22、第28回日本工作機械見本市（JIMTOF2016）が開催されました。見本市では、ボールねじAGシリーズおよび以下の機工・計測システム事業部の新商品を今回の注目商品として展示しました。「FGX」は、「高速&高効率&省エネ&省スペース」をテーマに開発したハイレシプロ研削盤です。高速シャトルテーブル（1000反転/min）により、超高速加工を実現。高精度な小物金型部品の前加工に最適です。「SF-640M」は、精密平面研削盤で加工したワークの精度評価用システムとして開発した新商品です。当社の超精密測定装置ナノメトロの技術を活用して、平面とエッジの高精度な評価を可能にしました。「GS-64PF II」は、マイクロファイナブル加工技術を搭載した高剛性平面研削盤です。より高品位、高能率に加工ができる新オプションとして提案します。これらの新商品によって、生産性向上やコスト削減といったお客様の期待に応えてまいります。



FGX



SF-640M



GS-64PF II

■ GlueFASTECコアの車載用モーターへの採用

当社が開発した金型内接着積層法“Glue FASTEC®”による接着積層コアは電気部品向けに量産の実績を積んできており、その実績と優れた特性が評価されて自動車の駆動用モーターとして初めて量産採用が決まりました。Glue FASTEC®コアは、その優れた電磁気特性によりモーターのエネルギー効率の向上に効果があることに加え、機械的精度の高さや剛性の高さ、低振動性等の様々なメリットもあることも評価されております。

当社としては今回の実績を足掛かりに、Glue FASTEC®コアの世界的普及に向け一層力を注いでいきたいと考えております。

■ 海外展示会への積極的出展

当社の海外展開にともない、9/6～9に韓国2016国際自動化精密機器展（KOFAS2016）、10/4～6に米国のモーター関連展示会 CWIEME Chicago 2016、11/1～5には2016中国国際工業博覧会（IAS2016）と、海外の展示会に相次ぎ出展を行いました。KOFASとIASでは、アジア市場におけるオートメーション化の進展を背景に当社駆動システム商品を中心に紹介いたしました。CWIEMEでは、接着積層によるGlue FASTEC等の各種モーターコアを米国市場に紹介し、当社独自の技術アピールしました。いずれの展示会でも積極的な商談が行われ、今後ますますのグローバル展開加速が期待されます。



KOFAS2016の様子

■ 長野工場参観日とリコチャレイベントの開催

本年8月、長野工場において二つのイベントを開催しました。従業員家族を工場に招き職場を紹介する「工場参観日」と、地元の中高生が参加した「クロダモノづくり体験教室」です。後者は、夏のリコチャレ（※）応援イベントとして開催しました。工場見学に引き続きモーターの役割や原理について学んだ後、ものづくり体験として3極モーター製作に挑戦してもらい、その後社員との懇談会を行いました。参加した学生からは「ものづくりの面白さを知った」「将来を考える参考になった」等の声が聞かれました。



長野工場参観日の様子

これらのイベントを通じて当社の地元での知名度がアップし、会社と地域社会との結び付きが今まで以上に強くなりました。

※リコチャレ・・・「理工チャレンジ」の略語で、女子学生に製造業の仕事への理解を深めてもらい、将来的にもっと多くの女性が理工系の職業に就くことを促進するために、政府が主導して行っている取り組みのこと。

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前 期 末 平成28年3月31日現在	当第2四半期末 平成28年9月30日現在
(資産の部)		
流 動 資 産	7,861	7,688
固 定 資 産	9,339	9,104
有 形 固 定 資 産	5,660	5,559
無 形 固 定 資 産	1,429	1,303
投 資 そ の 他 の 資 産	2,249	2,240
資 産 合 計	17,201	16,793
(負債の部)		
流 動 負 債	5,085	4,889
固 定 負 債	4,337	4,346
負 債 合 計	9,422	9,236
(純資産の部)		
株 主 資 本	5,996	5,958
資 本 金	1,875	1,875
資 本 剰 余 金	1,451	1,451
利 益 剰 余 金	2,677	2,639
自 己 株 式	△8	△8
その他の包括利益累計額	1,644	1,463
その他有価証券評価差額金	479	471
土 地 再 評 価 差 額 金	821	821
為 替 換 算 調 整 勘 定	281	108
退職給付に係る調整累計額	62	62
非支配株主持分	138	135
純 資 産 合 計	7,779	7,557
負 債 ・ 純 資 産 合 計	17,201	16,793

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計期間 平成27年4月1日～ 平成27年9月30日	当第2四半期累計期間 平成28年4月1日～ 平成28年9月30日
売 上 高	6,752	6,569
売 上 原 価	5,038	4,960
売 上 総 利 益	1,714	1,608
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,603	1,553
営 業 利 益	110	54
営 業 外 収 益	207	150
営 業 外 費 用	107	198
経 常 利 益	210	6
特 別 利 益	—	0
特 別 損 失	23	0
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	187	7
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税	64	29
法 人 税 等 調 整 額	61	△13
四 半 期 純 利 益	60	△8
非支配株主に帰属する四半期純利益	△9	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	70	△10

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計期間 平成27年4月1日～ 平成27年9月30日	当第2四半期累計期間 平成28年4月1日～ 平成28年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	563	524
投資活動によるキャッシュ・フロー	△473	△116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△135	△389
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	△32
現金及び現金同等物の増減額	△53	△13
現金及び現金同等物の期首残高	2,507	2,276
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,454	2,262

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■会社の概要

商号	黒田精工株式会社
本店	神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16
創業	1925年(大正14年)
資本金	18億75百万円
従業員数	416名

■連結対象会社の状況

連結子会社	持分法適用関連会社
クロダインターナショナル株式会社	株式会社ゲージング
クロダプレジジョンインダストリーズ(M) (マレーシア)	日本金型産業株式会社
平湖黒田精工有限公司 (中国)	
永昇電子株式会社	
韓国黒田精工株式会社	
KURODA JENA TEC HOLDINGS LTD. (英国)	
Jenaer Gewindetechnik GmbH (ドイツ)	
Kuroda Jena-Tec, Inc. (米国)	
Kuroda Jena Tec UK Ltd. (英国)	
平湖黒田捷納泰克商貿有限公司 (中国)	

■当社グループの主要な事業

セグメント	主要製品
駆動システム	精密研削ボールねじ、転造ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、XYステージ、ガイド、ギア
金型システム	積層精密プレス型、精密金属プレス商品、モーターコア
機工・計測システム	保持工具、ゲージ、平面研削盤、超精密鏡面研磨装置、超精密表面形状測定装置、電子機器、コンプレッサ、スピンドル

■株式の状況

発行可能株式総数	74,800,000株
発行済株式の総数	28,100,000株
株主数	2,162名

■所有者別株式分布状況

合計 28,100,000株

証券会社 0.98%

個人・その他	外国法人	金融機関	その他国内法人
39.58%	23.33%	15.25%	20.72%

自己名義 0.12%

■大株主

株主名	株式数 (千株)	持株比率 (%)
パーカー ハネフィン マニュファクチュアリング ユーケー リミテッド	5,570	19.84
株式会社みずほ銀行	1,381	4.92
黒田 浩史	1,169	4.16
ファナック株式会社	984	3.50
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	983	3.50
黒田精工取引先持株会	944	3.36
ユーログループエスピーイー	843	3.00
株式会社横浜銀行	748	2.66
三井住友信託銀行株式会社	616	2.19
株式会社ミツバ	562	2.00

*持株比率は自己株式(34,841株)を控除して計算しております。

■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	毎年3月31日
定時株主総会・期末配当	
公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載します。 http://www.kuroda-precision.co.jp/ ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

株式に関する手続きについて

○証券会社等の口座に登録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
郵便物等の発送と返戻に関するご照会	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
支払期間経過後の配当金に関するご照会	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
株式事務に関する一般的なお問合せ	TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

○特別口座に登録された株式

特別口座に登録されている株式につきましては、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお願いいたします。

株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、下記へお問合せください。

お問合せ先 0120-782-031 (フリーダイヤル)

[手続き書類のご請求方法]

・インターネットによるダウンロード <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

黒田精工株式会社

本社 / 〒212-8560 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16
TEL / 044-555-3800 (代表) FAX / 044-555-3524
<http://www.kuroda-precision.co.jp/>

